

FDA 便り

働くを楽しもう

7月1日
(第3号)

高津養護学校進路担当の先生方が、
FDAにご見学に見えました。

先日五月三十日、高津養護学校進路担当の、櫻井先生・松井先生・渡部先生が、FDA溝の口事業所にご見学に来られました。とても熱心に、興味を持ってご視察頂きました。

またご見学後には、FDAに対するご感想をお伺いいたしました。

- ・ 移行の他に、B型もある
- ・ 一人1台PCが使用できる
- ・ B型だが様々な講義を行っている
- ・ レコード洗浄やイヤホンガイド作業、名刺入力作業など、常時作業があることが、とても魅力的に感じる。

松井先生はレコードが大好きとのことで大変喜ばれていました。

◎FDAに期待することは？

↓「現在一人、卒業生が溝の口事業所でお仕事を一生懸命行っているの、今後も実習や受け入れなどよろしく

★FDA イベント★

「FDA 説明会」

●7月25日(木)
13:30~

「精神疾患当事者会」

●7月28日(日)
14:00~

《養護学校卒業生からのメッセージ》

就労継続B型利用者 武田直樹

◎FDAを選んだ決め手はなんでしたか？

↓ビジネスマナーなど、就労するための支援を、手厚く受けられそうだったからです。

◎いまFDAではどのようなことをやっていますか？

↓タイピング練習や、週に一度水曜日に施設外の実習に行き清掃を行っています。

◎将来の夢や、やってみたいこと、目標があったら、教えて下さい。

↓鉄道が好きなので、東京メトロの駅員さんになってみたいです。新宿駅からロンドンまで、鉄道と船を乗り継いで、旅行してみたいです。

FDA利用者の出身校

- ・ 神奈川県立中原養護学校
- ・ 横浜国立大学教育人間科学附属

特別支援学校

- ・ 保土ヶ谷養護学校舞岡分教室
- ・ 川崎市立中央支援学校
- ・ 高知県立高知若草養護学校子鹿園分校
- ・ 神奈川県立向の岡工業高等学校

(定時制)

精神疾患当事者会を

開催しています！

(B型事業所統括

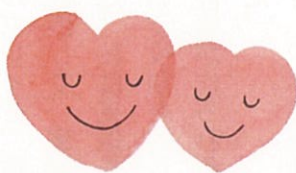
村上 朋大)

昨年12月から「精神疾患を語る会」を開催しています、B型事業所統括の村上と申します。

私自身、20代の頃からうつ病に悩まされており、その度に「この病気が治ったら、同じ苦しみを味わっている人を救いたい」と思っていました。

主に参加されるかたは、うつ病、発達障害の方ですが、中には知的障害のお子様とお母様や娘さんがうつ病といった家族の方も参加されています。

次回第5回の開催は7/28(日)14時からです。お誘い合わせの上、ご参加ください。



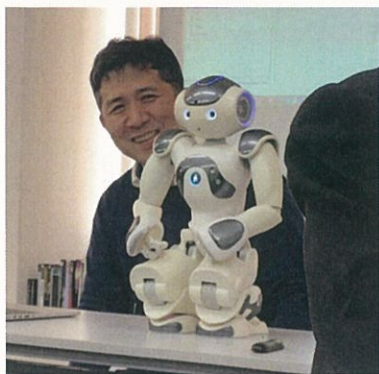
プログラミング基礎講座

(川崎事業所移行 訓練生

松浦 正光さん)

先日、プロボノ※で「プログラミング基礎講座」と題し、外資系のITサービス会社の河田卓志さんにFDAまでお越し頂きました。河田さんは幼少期の頃、テレビ番組でパソコンの仕組みを観て好奇心が芽生え、そこから汎用パソコンの勉強をして、今はAIやアレクサの開発に携わるお仕事をしていて、そんな時代の最先端をいく方から、なかなか経験できない講義を受けました。

第一回目の授業は、ホームページをつくるためのタグや、装飾するための基礎を学びました。ページ上タグを入力してボタンを用意して、ドレミファソラシドの音源を付けボタンを押すと



↑河田さんから声を掛けられて動くヒューマノイドロボット「NAO」

音がなるというものです。最初は、どれだけのタグを入力したらいいのか分からなかったのですが、丁寧に教えていただき作成することが出来ました。

また、その他にもデバックという作業をしました。間違った場所を見つけて、それを修正するというものです。デバックで難しかったのは、コードのyがvになっていて、見つけるのに1時間30分かかりました。辛かったですが、見つけた時の達成感があり嬉しかったです。

第二回では、実際にロボット「NAO」を、アプリを使って動かして頂きました。ある程度用意は必要ですが、基盤と線を組み合わせると、指示通り動いてくれるというものです。そして、文字を入力すると喋ってくれたり、会話のパターンをいくつか用意していると自己紹介が出来たりします。これを見て、いろんな動きが出来て凄いなと思いました。

私は今回学んだホームページ作成に興味を持ったので、動画サイトで勉強してみようと思えるいいきっかけになりました。

※プロボノ・・・社会人が自らの専門知識や技能を生かして参加する社会貢献活動。

「サービス管理責任者研修を

受講して

(スタッフ・島佳代子)

私は「サービス管理責任者研修」を今年二月に二日間に分けて受講し、修了証明書を受け取りました。この「サービス管理責任者」とは、障害福祉サービスにおいて利用者に適切なサービスが提供される様に個別支援計画の作成、サービス提供プロセスの管理などを担当する、障害福祉サービスの中心的存在です。

この研修で日本の障害者福祉施策の動向、サービス提供の基本姿勢等を学び

ました。午後はサービス担当者会議のロールプレイを、他受講者さんと役割分担して、模擬会議を行いました。私は支援員と当事者の母親という役割を演じ、実際の個別支援計画が作られる様子を想像しました。

受講を終えて、実際の利用者さんの支援においては、支援施設ばかりではなく、行政や病院、ケアホーム、地域の仲間に家族など、沢山の人の連携で成り立つ事を知ることが出来ました。

是非FDAを応援して下さい!

我々は様々な事情を抱えた就労困難者の自立を支援し、社会参加のお手伝いをしております。我々の活動(利用者の就労の実現・生活の質の向上)を、ぜひ応援して下さい。(個人・団体)

賛助会員・・・年会費5千円

正会員・・・年会費1万円

メール: info@fda.jp

電話: 044-245-5112

利用者さんの休日：趣味の部屋

タイトル: "陽が差す紫陽花"

就労継続B型利用者 M・T

選んだ理由: 川崎市から京葉線や内房線を使い、マザー牧場に行きました。目的は牧場の風景を撮影する予定でしたが、予想外にもあじさいが咲いていました。当日は晴天だったので、太陽の光と一緒に撮影しました。

